

10月30日に三和公民館で長崎市南部地区上映会が大盛況！

長崎友愛病院の茅野先生から支援の上映会をしたいとの申し出があり、急遽上映会が決まりました。この10月30日は長崎友愛病院が毎年行う病院祭として計画してあった日程で、映画会を設定することで一定の参加者が見込める状況があることから、隣接の三和公民館を会場に選び、広く地域へ呼びかけることになったものです。地区内の「女性団体」「商工会」「PTA」などの諸団体に声を掛けて実行委員会が作られ、各団体が分担しながら地域の方々に上映会への参加を呼びかける取り組みが行われて来ました。上映前に長大原研内科の朝長教授（「支援する会」副会長）による「アンゼラスの鐘がでるまで」と題したお話しがあり、会場を埋めた約500名の参加者は熱心に聞き入っていました。



スライドを交え好評だった朝長先生のお話し

秋月先生逝く 追悼上映会を行います。

祝賀会も盛大に終り、一段落した10月20日朝、本映画の完成を見届けたかのように秋月辰一郎さんが静かに亡くなりました。

「奇跡ともいえる13年間の闘病生活。『アンゼラスの鐘』の完成に安心したのでしょうか。永眠しました。」と妻すが子さんの言葉が紹介されています。訃報は、ほとんどの全国紙の一面で取り上げられ秋月先生が残された業績の大きさを改めて見直された方も多かったのではないのでしょうか。

9月9日の完成以来県内だけで、1万7千人を超える方々が『アンゼラスの鐘』を鑑賞されましたが、見逃した方からの問い合わせがまだまだ、寄せられています。製作を支援するナガサキの会と製作委員会では、今年最後の上映会を追悼の思いを込め、下記のように実施いたしますので製作協力券をお持ちの方は特に、この機会にご鑑賞いただきますようご案内いたします。

12月11日(日)	長崎大学中部講堂		
中部講堂は製作協力券のみ入場可能です。公共交通機関をご利用ください。			
12月18日(日)	長崎市チトセピアホール		
上映時間(両日とも)	10:30~	13:00~	15:00~



製作協力券の無い方は特別前売鑑賞券を発売していますが、チトセピア会場のみ有効です。詳しくは 095-824-2974へ

支援金 4200 万円突破！

ご支援まことにありがとうございます。(05.11.10 現在の支援金申込状況 4,274 万円)

2005年9月6日～11月10日にご入金いただいた方(団体・法人含む)を敬称略にて掲載いたしております。

< B枠にてご支援の方々 >
原水爆禁止長崎県協議会(長崎市)
山下秀正(時津町)

以上の方のご支援額合計 60万円

< A枠にてご支援の方々 >
瀬戸ひろ美(東京都)
佐藤リツ子(東京都)
活水同窓会中国支部(広島県)
落内科医院 落忠男(長崎市)
佐伯和信(長与町)
山本泰子(春日市)
大森聖アグネス教会(東京都)
島原市民劇場(島原市)
谷口与世夫(広島県)
米田チヨノ(横浜市)

柏本夕エ子(琴海町)
永山治男(大分市)
本村昭哉(大分市)
林 廣三郎(大分市)
横田医院 横田実(長崎市)

野島輝江(時津町)
石田健二(東京都)
広橋省三(別府市)
カトリック皆瀬教会(佐世保市)
児玉俊一(別府市)
寺尾英夫(大分市)
(医 栄和会泉川病院(深江町))
田花由巳(奈良市)
内田美代子(長崎市)
朝倉富美(長崎市)
鳥居祝子(愛知県)

福島克彦(大分県)
福島万里子(大分県)
テレビ長崎労働組合(長崎市)

以上の方のご支援額合計 56万円

ここに記載された方を窓口に多くの方々のご協力がありますことを申し添えて表記させていただきます。
ありがとうございました。
今号をもちまして製作支援者の紹介を終了させていただきます。
今後は英語版の製作をめざした募金活動に切り替えます。どうぞ引き続きのご支援をよろしく願います。